

ただ、愛する人のために。

ただ死なれ 清角兵衛

監督 山田洋次
原作 藤沢周平
脚本 山田洋次
音楽 富田勲
主題歌 井上陽水
出演 宮沢りえ
真田広之
田中 潤
小林 稔侍
岸 恵子
丹波 哲郎

www.shochiku.co.jp/seibei
www.tasogarescibei.jp

私たちの心の中に、

「たそがれ清兵衛」はいる。

たそがれ 清兵衛

同僚との付き合いを

かならずことわって、

たそがれ時に、まっすぐ

二人の子供と老母が

待つ家に帰る父。

同僚たちは陰で

「たそがれ清兵衛」と呼んでいた。

監督・山田洋次、

原作・藤沢周平、

主題歌・井上陽水、

主演・真田広之、宮沢りえ。

心のある人は、誰かを大切に作る。

構想十年――。

遂に、新しい時代劇がヴェールを脱ぐ。

巨匠・山田洋次監督が、
初めて挑む本格時代劇大作。

「男はつらいよ」「幸福の黄色いハンカチ」「学校」など、数々の心に残る傑作を生み出してきた日本映画界の巨匠・山田洋次監督が初めて挑んだ本格時代劇、それが「たそがれ清兵衛」である。構想に十年以上を費やし、時代考証に一年以上をかけて、山田洋次監督が満を持して挑んだ渾身の一作である。

原作は、文庫本の総発行部数が二二〇〇万部を超える、今もなお圧倒的な人気を誇る時代小説の第一人者・藤沢周平。今まで誰も映画化しえなかった藤沢文学の世界が、初めてスクリーンに映し出される。本作品は、藤沢周平の数ある名作の中から、特に高名な短編「たそがれ清兵衛」「竹光始末」「祝い人助八」をベースに、誰かを大切に思う心、目立つことのない本当の勇氣や誇りなど、現代の日本人に失われてしまった「心」を描いている。山田洋次と藤沢周平が問い合ける「本当の幸せとは何か」というメッセージに、きつと胸に沁み入る感動を覚えるに違いない。

これぞ映画の醍醐味。これぞ映画の面白さ。本当の斬り合いを描く、度肝を抜く殺陣。

本作品最大の見せ場はクライマックスシーンの殺陣である。山田洋次監督は、偽ものではない本当の斬り合いを目指した。殺氣漂う命を賭けた本物の恐怖をスクリーンに映し出そうとしたのだ。そのため殺陣師に加えて剣術師範（小太刀指導）を招き入れ、一週間以上かけて綺麗事ではないリアリティに充ちた殺陣シーンの撮影を行った。今までの「チャンバラ時代劇」と呼ばれる殺陣とは全く違う、未だ嘗て見たことのない度肝を抜く殺陣を生み出したのだ。

親子のふれあい、幼なじみとの秘めた恋、そして命を賭けた壮絶な果たし合い。

時は幕末――。庄内地方の小藩・海坂藩の下級武士・井口清兵衛。妻に先立たれ、二人の幼い娘と老母の世話をするために、御蔵方の勤めが終わるとすぐに帰宅することから「たそがれ清兵衛」とあだ名されていた。ある日、かつて想いをよせていた幼なじみ・朋江の危難を救ったことから剣の腕が藩士の噂になり、上意討ちの討ち手として清兵衛が選ばれる。清兵衛は藩命には逆らえず、朋江への秘めていた想いを打ち明け、意を決して邸に向かう。愛する家族のために、命を賭けた壮絶な戦いが始まった……。

圧倒的な存在感を魅せる
演技派キャストの競演。

主演は、アクションからシリアスな役柄まで、その確かな演技力には定評のある日本を代表する演技派俳優・真田広之。殺陣を知り尽くした真田の存在なくして本作品は成立しえなかった。幼なじみのヒロインに、香港映画「遊園驚夢 華の愛」で第二回モスクワ国際映画祭最優秀女優賞に輝き、女優としての活躍がめざましい宮沢りえ。「十五才」学校IVに続いて山田作品は二本目となる日本映画界の重鎮・丹波哲郎。「かあちゃん」の演技で、日本アカデミー賞最優秀主演女優賞を受賞するなど、その演技力が高い評価を得た岸恵子。「学校III」「十五才」学校IVで、今や山田作品には欠かせない存在となった演技派・小林稔侍。さらには世界的な舞踊家である田中泯が、清兵衛の敵役として息を呑む迫力ある演技を披露し、銀幕デビューを果たす。



出演：真田広之・宮沢りえ・小林稔侍・大杉漣・吹越満・深浦加奈子・神戸浩・伊藤未希・橋口恵莉奈・草村礼子

風圭史・中村梅雀・赤塚真人・佐藤正安・桜井センリ・北山雅康・尾美としのり・中村信二郎・田中泯・岸恵子・丹波哲郎

製作代表：大谷信義・萩原敏雄・岡素之・宮川智雄・菅徹夫・石川富康 プロデューサー：中川滋弘・澤澤宏・山本一郎 原作：藤沢周平「たそがれ清兵衛」「竹光始末」「祝い人助八」（新潮文庫）

脚本：山田洋次・朝岡義隆 撮影：長沼六男 美術：出川三男 美術監修：西岡善信 音楽：富田勲 照明：中岡源権 編集：石井巖 録音：岸田和美 衣裳：黒澤和子

監督助手：花輪金一 装飾：島村篤史 音楽プロデューサー：小野寺重之 進行：井汲泰之 製作主任：相場貴和・阿曾芳則 製作担当：峰順一・斉藤朋彦 殺陣：久世浩 小太刀剣術指導：裨輪勝

撮影協力：山形県鶴岡市・羽黒町・柳町・長野県望月町・秋田県角館町 主題歌：「決められたリズム」作詞・作曲・歌 井上陽水（フォーライフ ミュージックエンタテインメント）

製作協力：松竹京都映画株式会社 平成14年度文化庁映画芸術振興事業 ©2002 松竹・日本テレビ・住友商事・博報堂・日販・衛星劇場

2002年・カラー・ヴィスタサイズ・ドルビーデジタル・2時間9分・配給：松竹

題字：中川幸夫 広告写真：荒木経惟・金田正・鈴木きゆり

11月2日(土)ロードショー! 毎日サービスデー! 1000円 [当日料金一般1800円の処]

丸の内ピカデリー1 03(3201)2881	新宿ピカデリー 03(3352)1771	新宿ジョイシネマ1 03(3209)6180	渋谷東急2 03(3407)7219	池袋シネマサンシャイン 03(3982)6101	上野セントラル 03(3832)0057	109シネマズ本場 03(5683)0109	T・ジョイ大泉 03(5933)0141
錦糸町シネマ8楽天地 03(3631)7020	シネマメディアージュ 03(5531)7878	吉祥寺セントラル 0422(48)6521	品川プリンスシネマ 03(5421)1113	横浜シネマリン 045(261)2411	マイカル松竹本牧 045(625)4766	109シネマズ港北 045(948)5151	川崎チネチッタ 044(211)6125